



木中だより

新潟市立木崎中学校
令和8年2月6日

「静かなたたかい」

新たな年のはじまりを迎え、早くも2月に入りました。今週は節分や立春があり、暦の上では春の訪れを告げる時季となり、節目の時を感じる日々でした。

先日、テレビを見ていると、「静かなたたかい」というタイトルのニュースが目に飛び込んできました（実際には「静かな戦い」というタイトルでした）。受験を目前に控えた子どもたちが学校や自宅・塾で黙々と勉強する姿を放映するものでした。このニュースを見て、木崎中の生徒を思い浮かべながら考えました。

ふだんの授業では、ペアや班などの小グループで活動する場面が多くあります。教科担任の先生と発言や発表をとおして対話する場面もたくさんあります。自分の考えについて相手と比較したり、新たに気付いたり、考えを深めたりして自分の学びへとつなげています。ですが、テストの時は各々しゃべらず、横を向かず、黙々と答案用紙に文字を埋めていきます。定期テストや受験当日に向けて、こつこつと取り組む家庭学習も含め、まさに「静かなたたかい」なのだと納得し、このタイトルを考えた人の才能に感心しました。勉強とは、授業も、スポーツも、遊びもあらゆることが学びで、これらを活用しながら自分で自分を創り、高めることなのではないかと考えています。

年明けから3年生の高校入試が続いています。今週は、1,2年生でも定期テストがありました。ふだんは友だちや先生と一緒に活動しながら授業をしている生徒たちですが、3年生は自分を見つめ、自ら進路を選択し、自分の手で切り拓いています。その顔は、時には緊張をしていることもあります。今週の定期テストは、どの教室でも自分の今までの取組を振り返るかのように懸命に問題を解いていました。勉強は、自分自身との「静かなたたかい」なのかもしれません。

1月には、新たに生徒会役員となった1,2年生を対象としたリーダー研修会がありました。そこで、次のような話をしました。

良い学校をつくるためには 良い学年・学級をつくらなければならない
良い学年・学級をつくるためには 良い自分をつくらなければならない

言い方をかえれば、

良い自分をつくれば 良い学年・学級をつくることができる
良い学年・学級をつくれば 良い学校をつくることができる

同じことを言っていても、前向きに考えることでできるようになる



先週の学年だよりで、早速これを受け止める決意を述べた生徒がいて嬉しく感じました。生徒は他者と関わって活動しながら成長しています。しかし、中学生として自分を見つめ、鍛え、自身を伸ばす力強さも必要です。受験前の3年生やテスト中に自分自身との「静かなたたかい」を繰りひろげている生徒たちを見て、心の中でエールを送っていました。頑張れ！（校長）

教育活動の様子



冬休み明け全校朝会（決意発表）



修学旅行学習会（2年生）



生徒会任命式・引き継ぎ式



教育委員会学校訪問（授業研究会）



赤ちゃんふれあい教室（3年生） 北区役所健康福祉課様



令和8年度 木崎中学校生徒会組織

生徒会本部	副生徒会長	生徒会長	副生徒会長
	さん	さん	さん
規律委員長	さん	広報委員長	さん
保健・給食委員長	さん	整備・福祉委員長	さん
図書委員長	さん	運動委員長	さん

栄光の活躍

令和7年度「税の標語」 新潟間税会入選
 「ちりも積もれば税となる 税で救える 大きな命」 さん（1年）

令和7年度 全国中学生人権作文コンテスト新潟県大会新潟地区
 新潟人権擁護委員協議会奨励賞 さん（3年）

第34回新潟県交通安全協会 交通安全標語コンテスト
 佳作 さん（1年） さん（2年）
 さん（1年） さん（2年）